

報告事項

1) 令和4年度事業報告について

事業概要

畜産業を営むもの及びその組織する団体の経営安定、運営及び保健衛生に関する指導、経営に関わる補償・補填・相互扶助等の事業を推進し、畜産業を営むものの所得の安定を通じて、県内畜産業の振興に寄与する事業

事業実施状況

【経営支援対策】 区分 公益目的

(1) 畜産経営技術高度化促進事業（県受託）

中核・新規就農者及び地域経営者集団の経営体に対し、経営改善努力の助長と生産・経営技術支援を効果的及び効率的に実施するため、次の取組を行った。

① 支援研究会1回:出席者13名

非常勤畜産コンサルタントの委嘱、支援指導の研究方針についての議題等検討

② 調査研究:全国会議等への出席9回（延10名）

③ 個別経営支援・指導:個々の経営実態に合わせ、診断分析指導等を実施

支援対象農家実戸数52戸、1集団、1支援機関

④ 地域支援指導

A 畜産経営優良事例発表会 実地、一部リモートで開催 参加45名

a 県内優良事例発表

採卵鶏 望月 充(やまなしアニマルウエルフェア認証取得事例)

肉用牛 猪股 重教(令和4年度 大日本農会農事功績表彰事例)

b 情報提供「アニマルウエルフェア認証について」 農政部畜産課 課長補佐 金高 弘志

c 令和4年度山梨県家畜保健衛生業績発表事例 西部家畜保健衛生所 主任 大橋 啓佑

B 集中研修

a 肉用牛振興に係る推進会議1回:出席者14名

・耕作放棄地を利用したワンシーズン放牧による希少なジャージー牛生産
(グラスフェッドビーフについて)

・BGM研究会設立の経緯について

・本県肉用牛振興について

(2) 地域畜産支援指導等体制強化事業（地方競馬全国協会補助）

本協会で開催する経営支援対策事業に対し補助を受け、畜産の担い手の体制強化を図った。

(3) 貸付事業指導等事業（畜産近代化リース協会受託）

畜産近代化リース協会の貸付を受けた生産者に対し、適正な管理と利用について技術指導を行うとともに、施設・機械の導入、使用状況確認等を実施した。

・指導戸数:23戸 指導日数:9日 対象機械:76基

また、新規開拓に係る意向調査を16戸に対して実施した。

(4) 畜産関係団体調整機能強化事業（中央畜産会受託）

県内の畜産に関わる支援生産者組織整備として情報交換会1回、学習会1回、研修会1回、オンライン見学会1回を開催し、畜産経営相談窓口として資金相談及び生産技術指導支援を45回(酪農6戸、肉用牛9戸、養鶏2戸、養豚3戸)実施した。

(5) 課題解決サポート事業（中央畜産会受託）

借入の要望はあったが、社会情勢の不安により資金繰りの対応が中心となったため公庫のセーフティーネット資金への振替えが多くなり、計画作成支援の実施なし。

(6) 中小酪農等経営生産基盤・飼養管理改善対策事業（中央酪農会議受託）

酪農における生産基盤の弱体化を防ぐため、廃業、縮小する酪農経営で飼養されている乳用牛を継承する酪農家に対して奨励金の交付を行うものとして、要望を募ったが、今年度においては要望がなかった。

(7) 養豚A B L (動産担保融資) 担保物件調査 (日本政策金融公庫受託)

日本政策金融公庫が実施する動産担保融資に係る経営に対して、定期的に担保動産の数量と管理状況を現地確認し、毎月その報告を行った。

(8) 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業 (中央畜産会受託)

生産基盤の弱体化が課題となる中、TPP対策「攻めの農林水産事業への転換」を実現するため畜産クラスターへの取り組みを支援し、機械導入事業の要望書類の取りまとめ等を実施した。

県内で設置されている畜産クラスター協議会7協議会のうち、令和4年度参加要望を行った協議会は2協議会、機械台数は11件である。

(9) ICT化等機械装置等導入事業 (中央畜産会受託)

酪農及び肉用牛経営体に対して労働負担軽減・省力化及び飼養管理技術の高度化に資するため、畜産ICT応援会議の取組を支援した。

- ① 中央畜産会が開催する全国事業推進会議などの会議への出席3回。
- ② 普及推進業務及び利用状況確認業務の実施
- ③ 令和2年度取組の成果報告を実施。

(10) 酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業 通称「楽酪GO事業」

(中央畜産会受託)

酪農家が抱える労働負担を軽減するため、経営体が行う省力化機械装置の導入と一体的な施設の整備に対して支援及び円滑な事業運営のための推進活動、内容確認業務等を行った。

- ① 中央畜産会が開催する全国事業推進会議などの会議への出席4回。
- ② 普及推進業務及び利用状況確認業務の実施
- ③ 令和3年度事業完了報告書類確認及び提出：楽酪応援会議1件(機械5件・施設整備1件)

(11) 畜産クラスター全国推進事業 (中央畜産会受託)

畜産クラスターに係る中心的な経営体の育成を行う上で必要な指標づくりの為、県内の先進的な経営体を対象とし、経営内容に係る調査を実施した。

・対象農家：酪農18戸、肉用牛繁殖1戸、交雑種肥育2戸

(12) 家畜生産性向上対策事業 (中央畜産会受託)

酪農、肉牛生産者を対象とし、家畜の遺伝的能力を最大限発揮させるため、生産性に係るデータの収集及び分析を行い、抽出された課題点とその解決方策の指導を実施した。

・対象農家：酪農2戸、肉用牛繁殖1戸、肉用牛一貫1戸

(13) 生産基盤拡大加速化事業 (全国肉用牛振興基金協会受託)

和牛の輸出力強化のため、クラスター協議会の中心的な取組主体に位置する肉牛農家の繁殖雌牛の増頭に対して支援及び円滑な事業運営のための推進活動、内容確認業務等を行った。

本年度については1協議会から5取組主体が事業に参加し、補助の対象頭数は12頭であった。

(14) 家族経営における畜産DX推進事業 (中央畜産会受託)

IT(情報技術)やAI(人工知能)技術を活用した畜産のデジタルトランスフォーメーション(畜産DX)の技術導入による労働負担減や所得向上に与える効果を調査・分析するため、信州大学に協力を依頼。当協会では対象農場に於いて技術導入直後の経営データなどの収集・分析を行った。地域研究会を1回、現地検討会を1回開催した。また、中央畜産会主催情報交換会に2回出席、評価委員の現地調査対応を行った。

(15) 養豚経営災害緊急対策事業 (農畜産業振興機構受託)

生産者団体に対して、緊急時の経営における非常用電源の整備について導入の要望を誘引した。本年度については要望がなかった。

(16) 未利用資源活用対策事業に係るほ場副産物発生状況調査 (中央畜産会受託)

家畜飼料としての利用が見込めるほ場副産物について、その地域に何がどれだけあるのか所在及び量の調査を行う事業であるが、今年度については事業の要望がなかった。

(17) 山梨県畜産経営基盤パワーアップ事業（県補助）

新型コロナウイルス感染拡大等の影響により、海外からの輸入飼料の流通が停滞したことに伴う飼料価格の高騰が畜産農家の経営を圧迫していることから、経営の安定化に向けて生産性の向上や、飼料生産に資する機械装置の導入について要望書類の取りまとめ等を実施した。

対象農家は17戸、対象機械装置は28基である。

【衛生対策】 区分 公益目的

(1) 自衛防疫強化対策事業（県補助）

伝染性疾病等の発生・流行防止のため、予防接種を実施した。

- ・対象牛:3,466頭(アカバネ病、伝染性鼻気管炎) ・対象豚:740頭(豚丹毒)
- ・対象鶏:597,000羽(ニューカッスル病、鶏伝染性気管支炎)

(2) 家畜防疫緊急対策事業（富士河口湖町補助）

富士河口湖町管内の生産者で、ワクチン接種による家畜防疫対策の徹底を図る者に対し、生産者自己負担額の1/2を助成した。

- ・対象牛:2,229頭 ・対象豚:4,410頭 ・補助金額:3,436,145円

(3) 家畜生産農場衛生対策事業（関東農政局補助）

吸血昆虫が媒介する疾病予防を目的としたワクチン接種(アカバネ病)補助を2,184頭実施した。

(4) 牛疾病検査円滑化推進対策事業（関東農政局補助）

死亡牛の円滑な収集、輸送及び処理のための取り組み、BSE検査の円滑な実施を推進するため死亡牛の処理に係る経費に対する補助を実施した。

- ・対象頭数:延べ13頭 ・補助金額:132,000円

(5) 豚熱、アフリカ豚熱等豚病監視体制強化事業（県受託）

豚熱及びアフリカ豚熱等豚病の侵入防止のために、養豚農家診療獣医師が定期的に豚の移動・衛生状況・車両消毒等の調査及び指導・監視を養豚農家13戸に対して実施した。

また、農家の指導・調査について地域検討会を1回開催した。

(6) 家畜防疫互助基金支援事業（中央畜産会受託）

口蹄疫、CSF等の伝播力が極めて強く、畜産経営に極めて重大な影響を及ぼす疾病が万一発生した場合、経営への影響を緩和するため、生産者自らが積立を行い、発生農場が経営再開までに必要な経費等を相互に支援する事業、当年度は、事業実施期間3年間の2年目であったため現在の加入者に対して飼養状況の確認及び事業内容の周知を図った。また、豚熱が発生した農場に対して、昨年度に引き続き互助金の交付手続きを行った。

(7) 馬飼養衛生管理特別対策事業（中央畜産会助成）

事業の実施内容等について協議するため、馬飼養関係者を対象に整備委員会を1回開催するとともに、飼養衛生管理に関する知識の普及・啓発を図るための技術講習を1回開催した。

また、馬獣医療に関する飼養衛生管理、防疫体制の向上を図ることを目的に、飼育状況等の把握や馬飼養衛生管理基準に関する知識度等について馬飼養者37戸を対象にアンケート調査を実施した。

(8) 馬防疫強化地域推進対策事業（中央畜産会助成）

地域における自主防疫活動の強化を図るため、馬ワクチン接種等地域推進対策検討会を1回開催し、競走馬以外の乗用馬等に対する馬インフルエンザのワクチン接種を行った。

- ・接種補助頭数:187頭 ・補助金額:504,900円(1/2補助)

(9) 家畜防疫・衛生指導対策事業（中央畜産会助成）

地域伝染病発生時の防疫対応等を支援するため、伝染性疾病の発生に備えた防疫演習や飼養衛生管理基準に基づく防疫対策への取り組みの啓発等を行うとともに生産者段階での防疫演習等を実施した。

① 地域自衛防疫取組促進

地域自衛防疫体制の確認、防疫演習等の有効な活動対策等自衛防疫体制強化推進に関する検討を1回開催した。

② 地域自衛防疫活動推進

防疫演習等地域の実態に即した自衛防疫活動を家畜保健衛生所轄ごとに実施(県関係機関・市町村等を参集)し、地域防疫体制の整備・定着を図った。

③ 慢性感染症清浄化支援(牛伝染性リンパ腫対策モデル型)について

牛伝染性リンパ腫の感染拡大を防止するために実証モデル農場における衛生管理対策の継続的評価、検証を行った。実施内容としては、富士河口湖町内酪農家1農場をモデル農場として、ウイルスを媒介する飛翔昆虫対策並びに罹患牛4頭の自主淘汰を実施した。

(10) 野生獣衛生推進体制促進事業(家畜衛生対策推進協議会助成)

昨年度から引き続き、甲斐けもの社中協力のもと地域における家畜衛生関係者を中心とした野生獣被害の情報発信体制を構築、推進するとともに、野生獣被害の主となるイノシシ及びシカについての衛生実態を把握し、畜産農家等の飼養衛生管理に対する意識の向上を図り、野生獣衛生対策の推進に取り組んだ。

【経営安定対策】 区分 公益目的

(1) 肉牛価格差補填事業(協会単独)

山梨北部家畜市場への肉用子牛の出荷を奨励、市場取引成立牛に対し奨励金の交付と輸送経費の補助を実施し、市場活性化と肉用子牛生産振興が図られた。

(2) 子牛市場活性化推進事業(協会単独)

山梨北部家畜市場への肉用子牛の出荷を奨励、市場取引成立牛に対し奨励金の交付と輸送経費の補助を実施し、市場活性化と肉用子牛生産振興が図られた。

- ・交付頭数: 黒毛和種 83 頭、交雑種又は乳用種 19 頭
- ・奨励金交付額: 1,793,000 円
- ・輸送費補助実績: 対象頭数 80 頭、補助額 122,550 円

(3) 肉用子牛生産者補給金制度(農畜産業振興機構、県補助)

肉用子牛の平均売買価格(品種別・四半期毎)が、保証基準価格を下回った場合に機構からの交付金により全額交付され、平均売買価格が合理化目標価格を下回る場合、交付金の他に機構・県の助成金と生産者が拠出した財源を基に 9/10 を生産者補給金として交付される制度。

第7業対4年目になり、令和4年1月から12月について子牛価格が社会状況の影響を受け、肥育農家は仕入を差し控えることにより、子牛市場における均衡が損なわれたため、発動があった。

交付頭数: 乳用種 49 頭 交付金交付額: 1,196,700 円

[個体登録実績及び生産者積立金造成実績]

(単位: 頭、円)

区 分	黒毛和種	乳用種	交雑種	計
登録頭数	29	111	428	568
積立金単価	1,600	6,800	3,200	—
積立金造成額	46,400	754,800	1,369,600	2,170,800

注: 生産者積立金造成の負担割合は、農畜産業振興機構 1/2・山梨県 1/4・生産者 1/4

(4) 肉用子牛生産者補給金制度運営体制整備強化事業(農畜産業振興機構補助)

- ① 補給金制度運営適正化事業: 補給金交付業務の的確な実施と効率化を図り、家畜市場取引情報の収集と報告を行うとともに、事務委託先及び契約生産者に対し調査指導を行った。
- ② 指定協会運営体制支援事業: 補給金制度の円滑な実施体制の確保と、協会運営体制の強化を図るため、農畜産業振興機構から財政支援を受けた。

(5) 肉用牛肥育経営安定交付金制度 通称「牛マルキン制度」(農畜産業振興機構受託)

肉用牛肥育経営の収益性が悪化した場合、標準的販売価格(粗収益)と標準的生産費(生産コスト)との差額の9割を交付金(補填金)として交付する制度であり個体登録事務及び交付金業務を実施した。

生産者負担金については、業対初年度で積立金を開始、販売価格の下落、飼料高騰による生産品の上昇から発動する可能性が高く、生産者負担金単価が上昇した。

補填金については、もと畜費の上昇、枝肉価格の低下等により発動があり交付を実施した。

第1業務対象年間(平成31年度～令和3年度)終了に伴い、契約生産者へ無事戻しの手続きを行った。
 [基金造成実績] (単位:頭、円)

区 分	肉専用種	交雑種	乳用種	計
積立頭数	667	1,410	91	2,168
生産者負立金単価	22,000	19,000	19,000	—
生産者負担金額	13,102,538	28,221,521	702,879	42,026,938

[補填金実績] (単位:人、頭、円)

区 分	肉専用種	交雑種	乳用種	計
交付対象者数(延べ)	121	69	10	200
交付対象頭数	401	813	44	1,258
交付金として支払う額(機構)	13,558,182	13,739,996	1,839,265	29,137,443
積立金から支払われる額 (生産者)	4,519,462	4,572,307	600,329	9,692,098

[無事戻し返還額] (単位:頭、円)

区 分	肉専用種	交雑種	乳用種	計
対象頭数	1,229	3,554	288	5,071
返還額	3,906,724	30,328,838	2,439,530	36,675,092

[推進事業]

・委託先等現地指導回数:6回

(6) 優良肉用子牛生産推進緊急対策事業(農畜産業振興機構補助事業)

令和4年5月において子牛価格の下落、肉用子牛生産者の経営環境が悪化したことにより、経営改善を図る肉用子牛生産者を支援するため、飼養頭数を維持することを目的とし、販売した肉用子牛が発動基準を下回った場合奨励金を交付。(対象販売6月～12月)

なお、奨励金交付額については、預かり補助金として処理しているため、事務費のみの計上となっている。

参加者:3戸 奨励金(30,000円/頭) 交付頭数:1頭 奨励金交付額:30,000円

(7) 和子牛生産者臨時経営支援事業(農畜産業振興機構補助事業)

令和4年5月に急落した子牛価格は回復傾向にあるものの、価格が堅調に推移するまでの間、和子牛生産者のセーフティーネットとして臨時的に措置され、事業を実施し肉用子牛生産基盤を図る必要があるため、和子牛の取引価格の平均価格が発動基準価格を下回った場合、販売された和子牛対象として、支援金を交付する。参加者の取りまとめを行った。対象販売(1月～)

参加者:6戸

【他団体事務局業務受託】

区分 収益事業

(1) 山梨県養豚協会

本団体との事務の受託契約をもって、総会、会議、研修会、豚登録等の企画・開催等の事務を行った。

(2) 山梨県畜産技術連盟

本団体との事務の受託契約をもって、総会、会議、研修会事業等の企画・開催等の事務を行った。

(3) 山梨県馬事畜産振興協議会

本協議会との事務の受託契約をもって、公益競馬及び、馬伝統行事などの振興のため企画・調整等の事務を行った。

(4) 山梨県CSF感染拡大防止対策協議会

本協議会との事務受託により、野生イノシシにおける豚熱ウイルス拡散防止を図り、野生イノシシへのCSF経口ワクチン散布及び野生イノシシにおける豚熱ウイルスの浸潤状況調査に関して山梨県CSF感染拡大防止対策協議会が取り組む支援した。

【理事会議決事項】

区 分	開 催 年 月 日	議 決 事 項
第1回	令和4年5月30日	1 第33回定時総会開催及び提出議案に関する件 2 令和3年度決算の承認に関する件 3 令和4年度会費の賦課金追加に関する件 4 任期満了に伴う役員改選に関する件について 5 業務運営預り金の運用方針に関する件 6 付帯決議に関する件
第2回	令和4年6月13日	任期満了に伴う役付理事の選定に関する件
第3回(書面)	令和4年7月13日	1 理事の補欠選任について 2 理事の補欠選任について 3 理事会総会開催及び提出議案に関する件 4 付帯決議に関する件
第4回(書面)	令和4年7月29日	会長理事の補欠選任に関する件
第5回	令和4年12月2日	令和4年度事業計画の変更及び補正予算書に関する件
第6回	令和5年2月27日	1 臨時総会開催日時及び提出議案に関する件 2 令和4年度第2次補正予算書に関する件 3 令和5年度事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みについて 4 令和5年度会費の賦課について 5 役員の報酬額について 6 取引金融機関の指定について 7 業務運営預り金の運用方針について 8 付帯決議について 9 事務局長の任命に関する件

【総会議決事項】

区 分	開 催 年 月 日	議 決 事 項
第33回定時	令和4年6月13日	1 令和3年度決算の承認に関する件 2 令和4年度会費の賦課金追加に関する件 3 任期満了に伴う役員改選に関する件 4 業務運営預り金の運用方針に関する件 5 付帯決議に関する件
臨時(書面)	令和4年7月29日	1 理事の補欠選任について 2 理事の補欠選任について
臨時(書面)	令和5年1月30日	令和4年度事業計画の変更及び第1次補正予算に関する件
臨時(書面)	令和5年3月30日	1 令和4年度第2次補正予算書に関する件 2 令和5年度事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みについて 3 令和5年度会費の賦課について 4 役員の報酬額について 5 取引金融機関の指定について 6 業務運営預り金の運用方針について 7 付帯決議について

【監事監査の実施状況】

令和4年5月20日 令和3年度業務執行状況及び決算内容等について

【その他監査・検査状況】

令和4年11月10日 地方競馬全国協会監査

【衛生指導業務運営委員会】

令和5年3月10日 予防注射事業におけるワクチンの一部改正について

【会員及び役職員の構成】

(令和5年4月1日現在)

区分	4年3月末	4年度入会	4年度退会	5年3月末
会員数	52	0	0	52

区分	会長	副会長	専務	理事	監事	計
役員数	1	1	1	10	2	15

区分	正職員	臨時職員	計
職員数	7	2	9